

---

# 北広島町生涯学習推進計画

---

「学び」からはじまる ひとづくり・つながりづくり・まちづくり  
～ 未来へつなぐ、みんな輝く「ふるさと北広島」 ～



北広島町教育委員会

## 目 次

### 第 1 章 計画の概要

- 1 策定の趣旨 ..... 1
- 2 計画の位置づけと範囲及び期間 ..... 2

### 第 2 章 生涯学習を取り巻く現状と課題

- 1 生涯学習をとりまく社会情勢 ..... 4
- 2 北広島町の現状と課題 ..... 6

### 第 3 章 基本理念と施策の方向性

- 1 基本理念 ..... 10
- 2 基本施策 ..... 11
- 3 施策の体系図 ..... 15
- 4 施策の具体例 ..... 16

### 第 4 章 計画の推進

- 1 計画の推進体制 ..... 19
- 2 計画の評価 ..... 19

用語解説 ..... 20

資料編 ..... 21

## 第1章 計画の概要

### 1 策定の趣旨

北広島町では、新町建設計画に基づき、現在を支え明日を担う人づくりに取り組み、生き生きとした活力ある地域を築くため、平成18年3月に「北広島町生涯学習推進計画」を策定しました。

しかしながら、我が国の社会情勢は益々多様化・複雑化し、社会変化への柔軟な対応が求められています。

こうした中、めざす町の将来像を「新たな感動・活力を創る北広島町～人のチカラがあふれるまち～」と定め、協働と広域的な連携を軸に、満足感と幸福感が感じられるまちづくりを実現させるため「第2次北広島町長期総合計画」が平成29年3月に策定されました。北広島町長期総合計画の基本理念は、下記の北広島町町民憲章です。

この総合計画の中には、北広島町に暮らす一人ひとりが自分らしく活躍し、みんなが主役のまちづくり、人のチカラであふれたまちになるよう、住民と力を合わせて「協働のまちづくり」に取り組んで行くことなどが明記されています。

生涯学習の推進に関しては、「施策分野Ⅱ 誰もが愛着を持って暮らせるまち」の「3 夢と希望、豊かな学び合いにあふれたまちづくり」に位置づいており、基本的な方向性の(3)の中で、「生涯を通じた学習・スポーツの振興」が掲げられています。人材育成に重点を置いた「学び」をひとづくり・まちづくりに生かす仕掛けや、「ふるさと夢プロジェクト」と連動した、子供から大人まですべての世代が、ふるさとの魅力を感じる社会教育のまちづくりを推進すること、町内のスポーツ施設等を活用した、町内外の住民が交流できるスポーツ大会の開催や、ライフスタイルに応じて幅広くスポーツ活動を行えるまちをめざすことが明記されています。

この様な状況を踏まえ、住民一人ひとりが、自分にあつた学びを行う中で生き生きと暮らし、北広島町の特徴である豊かな自然環境と里山文化を継承した持続可能な地域社会の実現を目指す為、生涯学習が果たすべき役割を本計画策定委員会の中で協議し、新たな北広島町生涯学習推進計画を策定します。

#### 北広島町町民憲章

##### 前文

私たちは、先人たちの思いを受け継ぎ、源流域の自然と田園文化が息づく北広島町で暮らすことに誇りを持ち、平和で豊かな郷土を築くためにこの憲章を定めます。

##### 本文

1. 自然の恵みを大切にし、生かし、美しく住みよい町をつくります。
1. 伝統を大切にし、文化を高め、次世代につながる町をつくります。
1. 人を大切にし、互いを認め、思いやりのある町をつくります。
1. 地域の産業を大切にし、希望あふれる町をつくります。
1. 健康を大切にし、笑顔が輝く、活力ある町をつくります。

平成27年2月1日制定

## 2 計画の位置づけと範囲及び期間

### (1) 計画の位置づけ

本計画の策定にあたっては、「第2次北広島町長期総合計画」及び「北広島町教育大綱」との整合性を図り、国の「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月)や、SDGs (p.20 用語解説①) の視点を参考とすると共に、町の現状や課題を踏まえ策定します。

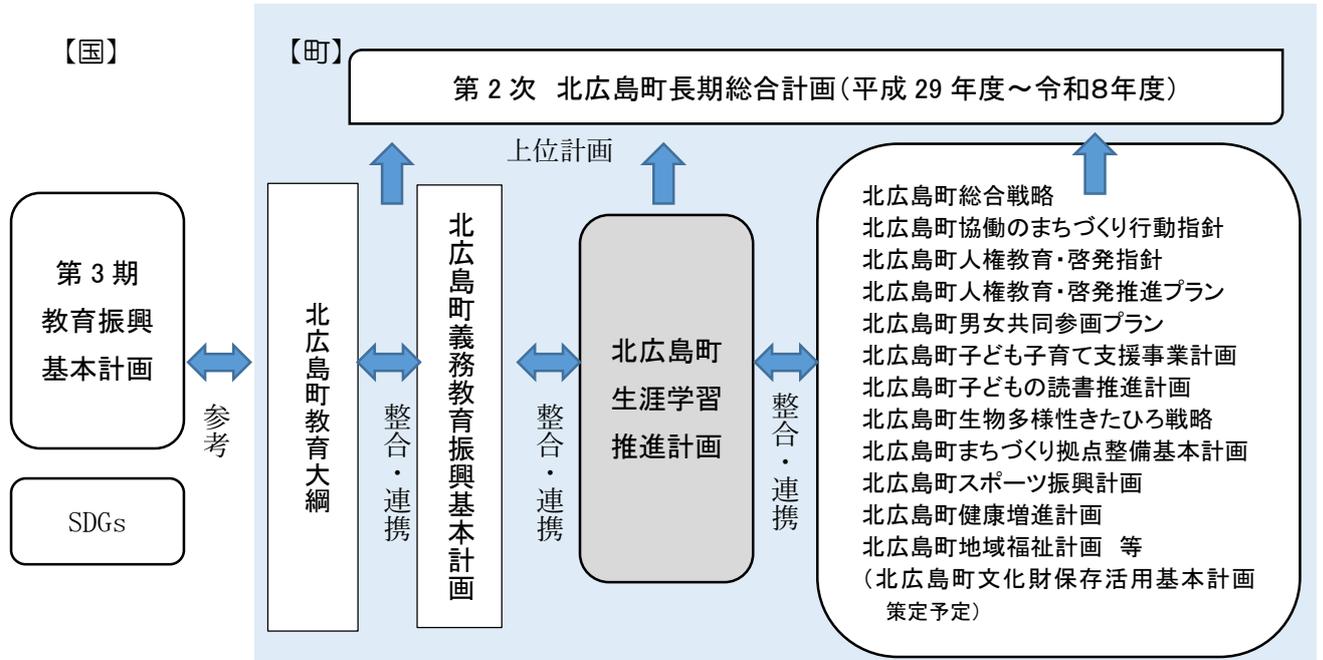


図1 計画の位置づけイメージ図

### (2) 計画の範囲

生涯学習の概念は非常に幅広く、行政が推進する生涯学習についても、教育分野を中心に、多岐にわたります。

本町においては、教育分野としての生涯学習の推進を軸に置きつつ、福祉・産業・環境・地域振興・スポーツ等の分野における生涯学習に関する施策は、「北広島町長期総合計画」に基づいた個別計画が策定又は策定予定であることから、それらと連携しながら推進していくとします。

### (3) 計画の期間

計画期間は令和3年度から令和9年度とし、上位計画である長期総合計画と整合性を取りながら、国の動向や社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
北広島町長期総合計画(第2次)	前期:平成29年度～令和3年度		後期:令和4年度～令和8年度				
北広島町教育大綱(第2期)	平成30年度～令和4年度						
北広島町生涯学習推進計画		令和3年度～令和9年度					

表1 計画の期間

#### (4) 生涯学習の捉え方

本町では、教育基本法第3条に則り、いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、学んだ経験や成果を、ひとづくり・つながりづくり・まちづくりに生かすことを基本理念とします。生涯学習の定義は次のとおりとします。

### 生涯学習の理念と教育の3領域

#### 生涯学習の理念(教育基本法第3条)

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

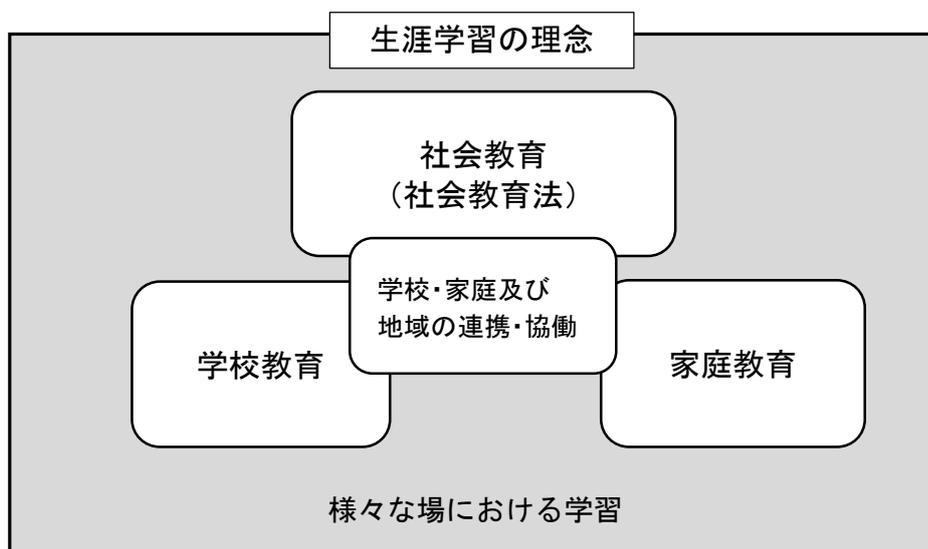


図2 生涯学習の理念と教育の3領域

生涯学習の理念は、平成18年に改正された教育基本法の第3条に次のように描かれています。

「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」

つまり、だれでも・いつでも・どこでも学ぶことができ、学んだ成果を生かすことができるのが生涯学習の理念です。生涯学習の理念は、家庭教育、学校教育、社会教育だけでなく、職場・地域・個人で行う、スポーツ・文化・趣味・教養・レクリエーション活動など、様々な場における学習にも反映されます。

## 第2章 生涯学習を取り巻く現状と課題

### 1 生涯学習を取り巻く社会情勢

#### (1) 社会的背景

我が国は、人口減少、少子高齢化が急速な勢いで進み、生涯学習をとりまく状況は、大きく変化しています。2015年9月の国連サミットではSDGsが採択され、4番目のゴールに「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」が掲げられました。

「人生100年時代」の到来により、高齢期の人生設計も大きく変わりました。健康で心豊かな生活を送り、生きがいを持って、社会で活躍しながら生きるために、生涯を通じての学びと活躍の場が求められています。

また、IoT (p. 20 用語解説②) や AI (人工知能) 等の急速な技術革新に伴い、Society5.0 (p. 20 用語解説③) の到来が予想されております。

#### (2) 国の動向

平成27年12月21日の中央教育審議会答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策」で、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み等が示されました。

平成30年6月に「第3期教育振興基本計画」が閣議決定されました。「1. 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する。」「2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する」「3. 生涯学び、活躍できる環境を整える」「4. 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する」「5. 教育施策推進のための基盤を整備する」の5つの基本方針が示され、「家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進」「人生100年時代を見据えた生涯学習の推進」などの教育政策の目標が明記されています。

また、平成30年12月の中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」では、「社会教育」を基盤とした「人づくり、つながりづくり、地域づくり」で、学びと活動の好循環を促していくという方向性が示されています。(図3)

新型コロナウイルス感染症の出現は、生涯学習の有り様も大きく変えました。令和2年9月に、中央教育審議会生涯学習分科会から、「第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理 多様な主体の協働とICT (p. 20 用語解説④) の活用で、つながる生涯学習・社会教育～命を守り、誰一人として取り残さない社会教育の実現へ～」が提言されました。新型コロナウイルス感染症への対応や今後想定される新たなパンデミック (p. 20 用語解説⑤)、自然災害への対応などが喫緊の課題となっていること、こういった課題に対し、若者、高齢者、また外国人の方も含め、すべての人々が防災等について必要な知識を得たり、課題解決に向けて共に学び合ったりする機会の充実の必要性が示されています。

また、社会教育施設が防災の拠点として機能することや、包摂的な社会の実現に向けて、様々な人々に必要な学びの機会を設けること、学びを通じた地域づくり等が提言されています。(図4)

# 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について (答申) 概要

## 第1部 今後の地域における社会教育の在り方

＜地域における社会教育の目指すもの＞

### 1. 地域における社会教育の意義と果たすべき役割～「社会教育を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり～」

多様化し複雑化する課題と社会の変化への対応の要請

- 人口減少、高齢化、グローバル化、貧困、つながりの希薄化、社会的孤立、地方財政の悪化、SDGsに向けた取組等  
⇒ 持続可能な社会づくりを進めるために、住民自らが手として地域運営に主体的に関わっていくことが重要
- 人生100年時代の到来、Society5.0実現の提唱等  
⇒ 誰もが生涯学びの必要な学習を促し、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現に向けた取組が必要

### 社会教育：個人の成長と地域社会の発展の双方に重要な意義と役割

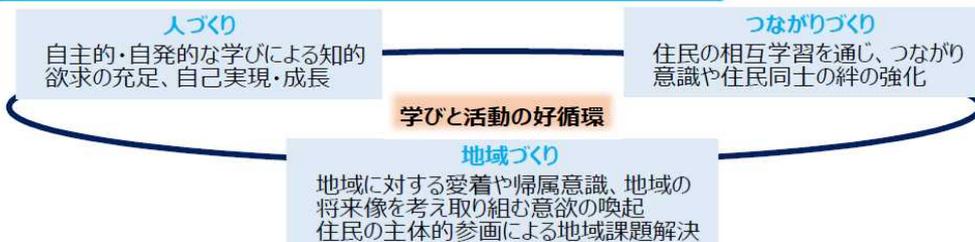


図3 平成30年12月の中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」より抜粋

## 「議論の整理」を踏まえた地域における学びの姿（イメージ）

多様で豊かな学びやつながりによる生涯学習や社会教育の取組を通じて、人々の命を守り、誰一人として取り残すことなく生きがいを感じることでできる包括的な社会の実現を目指します。

### 地域課題・ニーズに応じた多様な学びの活動を実施

#### 学びの活動の例

#### 「命を守る」生涯学習・社会教育

自然災害等から命を守ることに  
つながる学び

防災等に必要知識を得て、課題解決に向け共に学び合う。

社会的包摂に向けた  
学び

様々な理由で困難を抱える人々への学びの機会を福祉部局や民間団体等と連携し確保する。

デジタル・ディバイド  
解消に向けた学び

ICTに関するリテラシーを身に付けることができる機会を企業等とも連携し確保する。

子供・若者の  
地域・社会参画

子供・若者が地域課題解決に主体的に取り組む機会を設ける。

### 地域課題解決に向けた「豊かな学びの姿」を実現

様々な背景を有する  
多様な世代の人々の参画

共に学びあうことで、新たなアイデアが生まれ課題解決へ  
他者を理解し受け入れ共生する社会の実現へ

多様な主体の連携・協働



参画を促進

連携・協働

社会教育主事・社会教育士

学びの活動をコーディネート

効果的な学びを企画・実施

「ICT」と「対面」の効果的な組み合わせ

ICTの活用により、多様な交流や人と人とのつながりを広げ、更に豊かな学びへ

命を守り、誰一人として取り残すことのない社会  
の実現へ

図4 令和2年9月の「第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」を踏まえた「事例・施策集」（令和2年10月）より抜粋

## 2 北広島町の現状と課題

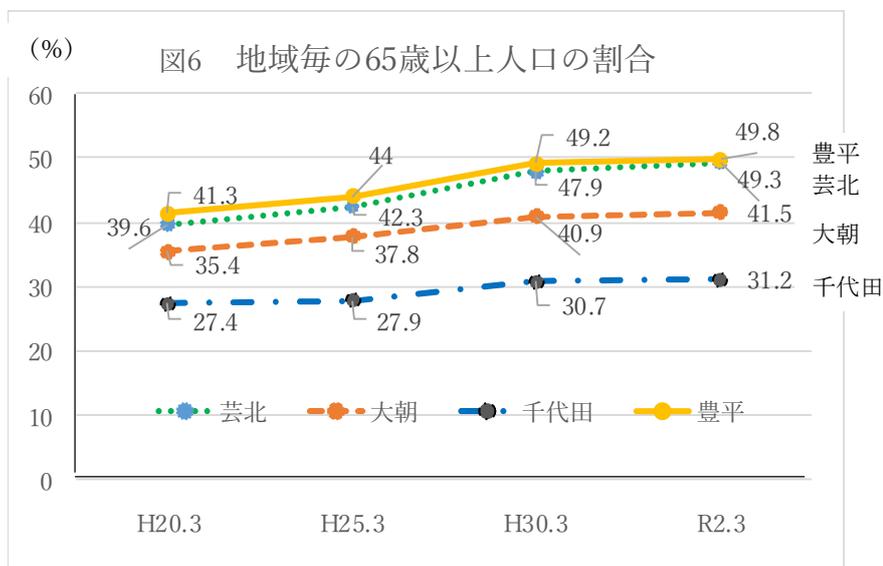
### (1) 人口減少と少子高齢化の進行

我が国では少子高齢化に伴う人口減少が進んでおり、北広島町も例外ではありません。

町の総人口は、平成20年(2008年)3月末の20,861人から、令和2年(2020年)3月末の18,344人に減少しました。65歳以上の人口割合は平成20年3月末の33.1%から、令和2年3月末の38.2%に増加しました。特に千代田地域以外の3地域で人口減少と高齢化の進行が進んでいます。

2020年3月末の北広島町の総人口18,344人は、2020年の推計値17,733人と目標値18,312人を上回っており、減少幅は緩やかになっていますが、このまま減少すると、地域コミュニティの維持が難しい局面を迎えるなど、厳しい見通しが予想されます。

将来人口は、2040年には、総人口が13,528人、65歳以上の高齢者割合は、43.1%まで上昇すると推計されています。



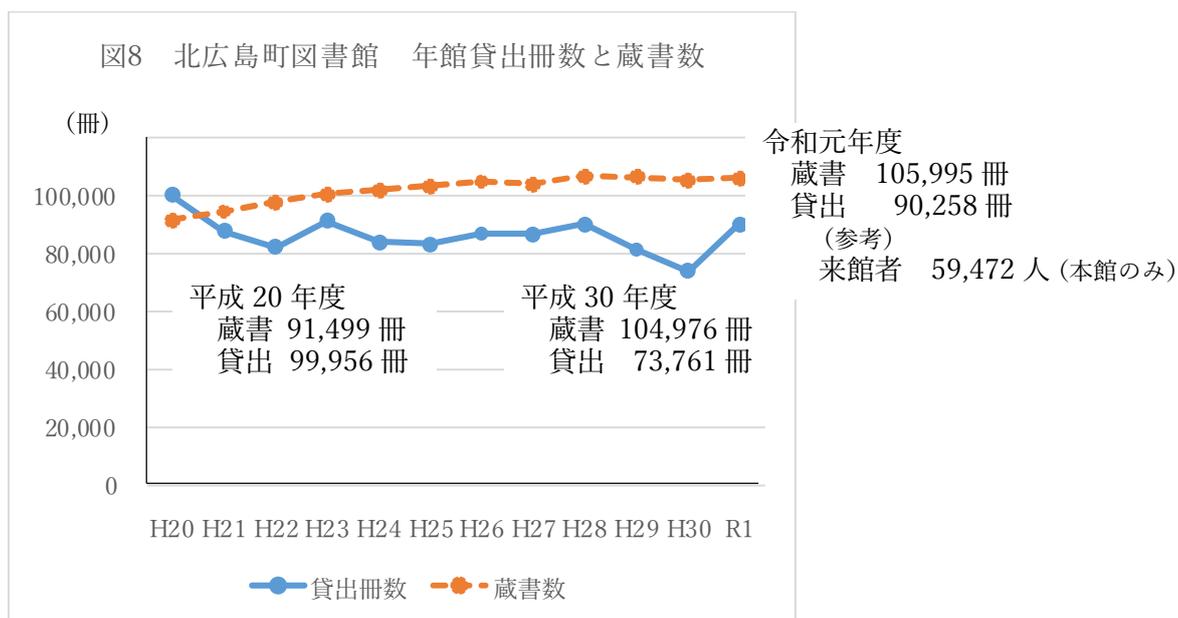
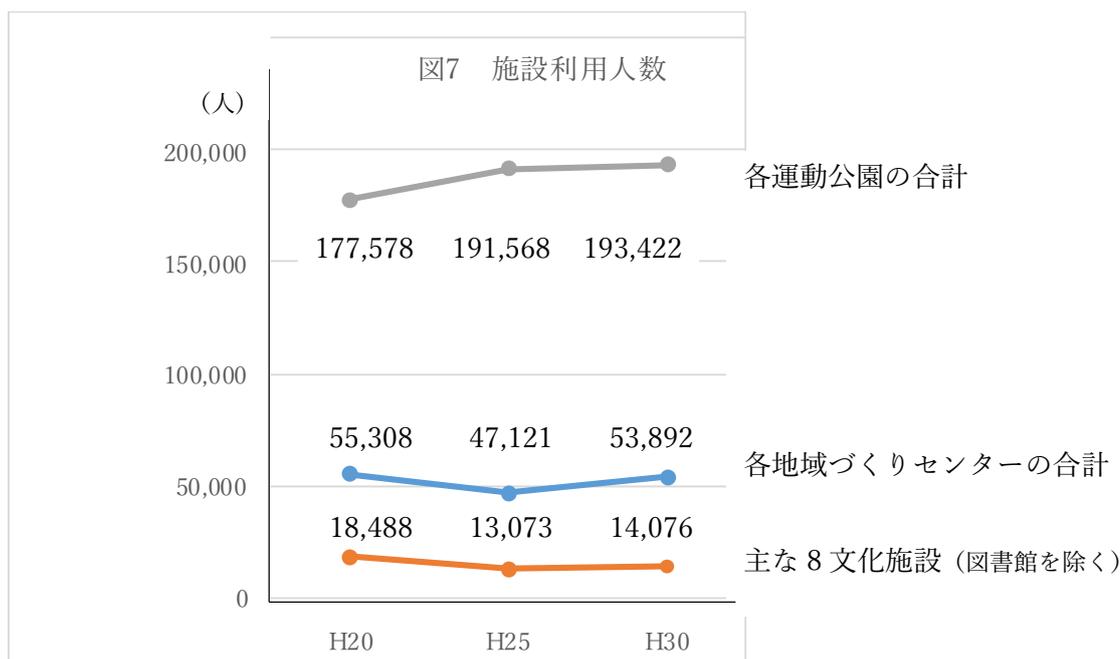
※ 推計は「第2次北広島町長期総合計画」より  
 グラフは、「北広島町住民基本台帳世帯数及び人口」より

## (2) 主な生涯学習関連施設の利用状況

町内には、旧町単位で4つの地域づくりセンターと4つの運動公園、また図書館、多数の文化施設、スポーツ施設があり、行政からの生涯学習機会の提供と共に、住民による自主的で積極的な生涯学習活動や施設利用が行われています。特に、スポーツ施設は、町内外の方に、さかんに活用されています。

グラフからは、施設の利用者の減少傾向が近年回復している様に見られますが、施設によっては、利用者が減少及び固定化傾向にあります。

生涯学習施設が住民に広く知られ、それぞれの目的に合った積極的な活用ができるように情報提供等、環境整備が必要となります。



\* グラフの数字は、図書館本館と3つの分館の数字の合計。  
 (分館は、芸北・千代田・豊平地域づくりセンター内に設置)  
 \* 本館は、平成30年9月～3月は改修の為閉館。

### (3) 生涯学習施策の現状

平成 18 年 3 月策定の「北広島町生涯学習推進計画」には、成果指標が設定されていません。

よって北広島町長期総合計画（平成 29 年 3 月）に掲げられている生涯学習関連の成果指標に従い、生涯学習の一部について事業成果を示します。

9つの指標のうち、「行事に参加した人及び関わった人の満足度」や「チャレンジデーの全町参加率」など5つの指標については達成をしています。とりわけ、「ワークショップの参加者数」が大きく伸びていることから、ここ数年間で、町民と行政による協働のまちづくりが前進していることが見て取れます。

他方で、「町内文化施設への入館・入場者数」及び「ふるさとに誇りを持ち、たくましく生きる子供・若者・大人の育成」など4つの指標で目標値を達成できていません。

今後、町民と行政による協働の推進を一層図りながら、「ふるさと北広島」を未来につなげていくために、引き続き様々な施策が必要です。

#### ■第2次「北広島町長期総合計画」の成果指標（前期：平成29年～令和3年）

歴史・文化・伝統の継承と発信 (H27・28年度) (R3年度) (R元年度)

指標	基準値	目標値	実績値	達成
行事に参加した人及び関わった人の満足度	80.1%	82.1%	95%	○
町内文化施設への入館・入場者数	2万1千人	2万2千人	2万1千人	未達成

ふるさとに誇りを持ち、たくましく生きる子供・若者・大人の育成

将来北広島町に住みたいと思う中学3年生の割合	35%	50%以上	35%	未達成
地域による学校支援組織の数	3組織	4組織	3組織	未達成

生涯を通じた学習・スポーツの振興

4地域公民館の利用者数(図書利用者を除く)	5万3千人	5万8千人	4万6千人	未達成
チャレンジデーの全町参加率	48%	55%	59.6%	○

人権が尊重され差別のない社会の実現

人権教育・啓発プランの策定	—	策定完了	策定完了	○
---------------	---	------	------	---

北広島らしい美しい景観の継承

指定地外のテングシデ自生地を買収・買収地の立木補償割合	0%	100%	100%	○
-----------------------------	----	------	------	---

町民と行政による協働のまちづくり

ワークショップ参加者数	94人	200人	310人	○
-------------	-----	------	------	---

#### (4) 生涯学習施策の強みと課題

強みと課題を整理するにあたり、生涯学習施策を推進する拠点となる町内の生涯学習施設職員と生涯学習関係職員 27 人に聞き取り調査を実施しました。得られた内容を基に、3つのカテゴリーに分けて、整理した結果を以下に示します。

##### ■ 学習機会の提供・ひとづくりに関すること

###### 〈強み・魅力〉

- ・学ぶ意欲を持つ人が多い
- ・継続して生涯学習を行う人が多く、活動がまちづくりに繋がっている。

###### 《課題》

- ・地域住民のニーズ把握の方法・多様なニーズや価値観の変化
- ・若い世代の学ぶ場、幅広い学習の場の不足
- ・「地域学習」が、地域の中に埋もれ、広く日本や世界からの視点で見た時の「地域」として語られることが少ない現状
- ・生涯学習に関与する余裕がない住民の姿（昼は仕事・夜は家庭。）
- ・住民のまちづくりに対する関わりの弱さ
- ・仕事と子育て等で忙しい若い世代
- ・施設の特定の人々の利用（図書・趣味のサークル活動・会議）
- ・図書館・歴史館等生涯学習施設を知らない住民の存在

##### ■ 推進体制・つながりづくりに関すること

###### 〈強み・魅力〉

- ・NPOなどの地域団体が多い
- ・住民・利用者と施設職員の良好なコミュニケーション

###### 《課題》

- ・組織を越えた横の連携・協働の不足
- ・地域コミュニティの共同体意識の低下

##### ■ 担い手育成・まちづくりに関すること

###### 〈強み・魅力〉

- ・広島市からのアクセスの良さ
- ・知識の豊富な地域の指導者（講師）が多い
- ・自然・歴史・芸能等の豊富な資源・素材がある

###### 《課題》

- ・学びの循環の不足
- ・少子高齢化
- ・町内の交通の便の悪さ（高齢化の進む中、地域が広すぎて、隣の家が、店が、病院が、避難所が、金融機関が、病院が、遠すぎる。）
- ・働く場の急激な減少（地域の産業が消えると文化も消失）
- ・指導者の高齢化

以上のことから、学ぶ意欲を持つ人が多く継続して活動している等の強みを生かしつつ、住民の思いを共に育てる学びの支援と、地域の小さな単位へ出かけていく「出前講座」や「オンライン講座」など、だれでも、いつでも、どこでも学ぶことができる環境づくり、組織を越えた連携を図ること、学んだ経験や成果を生かす活躍の場をもうけること等が、今後の町の生涯学習施策に必要と思われます。

### 1 基本理念

「学び」からはじまる ひとづくり・つながりづくり・まちづくり

～ 未来へつなぐ、みんな輝く「ふるさと北広島」 ～

変化し続ける社会の中で「人生100年時代」を心豊かに生きていくために、住民の学びたい気持ちを引き出し、この町の誰もが、いつでも、どこでも、学ぶことができ、学んだ経験や成果を、「ひとづくり・つながりづくり・まちづくり」に生かすことができる「学び」の支援を行います。

住民一人ひとりのやりたいことを引き出し、そのアイデアを共に育て、楽しみや幸せ感を育みながら実現する支援を行います。

北広島町の特徴である豊かな自然環境と里山文化を継承し、まちに暮らす一人ひとりが、スポーツや文化活動、また自分の実現したい様々な活動を楽しむ事を通して自分らしく活躍し、互いを認め合う、一服の清涼感を持った心豊かな暮らしと、笑顔があふれ、一人ひとりが輝く「ふるさと北広島」を未来へつないでいきます。

## 2 基本施策

基本理念を実現するために、次の3つの基本施策と7つの施策の方針を定め、生涯学習を推進します。

### ■基本施策Ⅰ ひとつづくり

#### すべての人への「学び」の提供と支援

住民の「学び」への意欲を引き出し、幅広い世代へ学習機会に関する情報を提供するとともに、地域の課題等を的確に捉えた学びを企画し、住民の主体的な学びを支援していきます。

#### 施策の方針1 主体的な学びの促進と支援

##### (1) 学びたい気持ちを引き出し応援する支援

住民一人ひとりのやりたいことを引き出し、そのアイデアを共に育て、楽しみや幸せ感を育みながら、共に実現します。

また、住民の持つ様々な強みをさらに伸ばす「学び」の支援を行います。

さらに、地域へ出向いての「出前講座」や、「オンライン講座」など参加しやすい環境を作り、様々な学びの機会を提供して、学びたい気持ちはあるがこれまで学ぶ機会がなかった住民の「学び」を応援します。

##### (2) ライフステージに応じた主体的学びの支援

人生100年時代を迎え、乳幼児期から高齢期までライフステージに応じた様々な学習が必要となっています。子供向け・子育て世代向け・高齢者向けなど各世代のニーズに応じた講座の開設に取り組みます。

北広島町まちづくりセンター・各地域づくりセンター及び北広島町図書館・芸北民俗芸能保存伝承館・戦国の庭歴史館・高原の自然館など既存の生涯学習施設を、住民が気軽に利用し、これまで生涯学習に参加されなかった方々も参加できる雰囲気醸成して、幅広い世代へ多様な学習機会を提供します。

また、生涯学習に関わる職員に対し、講座の企画等に必要な知識と技能等に関する実践的な研修への参加を促して専門性の向上を図り、住民の主体的な「学び」を促進及び支援していきます。

#### 施策の方針2 多様な学習機会の提供

##### (1) 地域課題に対応した学習機会の提供

「出前講座」や、「オンライン講座」など様々な方法を工夫して、地域防災、環境問題、男女共同参画、家庭教育などの様々な学習機会を提供し、地域住民の困りごとの解決になる様なプログラムを地域住民とともに進める事に努め、生かされる「学び」を提供していきます。

その中で、地域課題を自分たちのコミュニティなどで主体的に解決していくなどの住民意識を培います。

## (2) 人権教育の推進

すべての人々が尊重され、心豊かで文化的な地域社会を実現するため、人権尊重の理念について理解を深め、互いに認め合い、共に生き、人が輝くまちづくりを目指して、地域社会における身近な課題について、人権教育の視点を入れた学習機会の提供に務めます。

また、生涯学習関係者に対して、人権教育の目的・基本理念を踏まえた研修への積極的な参加を促し、人権に対する幅広い見識を持つ人材を育成します。

## (3) 家庭教育支援の充実

保健課・福祉課（ネウボラ）等関係各課と連携し、子供が健やかに成長していけるよう、家庭教育の意義や親の役割を学習する機会、家族で様々なプログラムを体験する機会などを提供し、北広島町の豊かな自然の中での子育てを楽しみ、安心して子供を育てられる土壌をつくり、子育て支援と若者定住につないでいきます。

## (4) 読書活動の推進

北広島町図書館の「暮らしの中に図書館を」という運営方針に基づき、本館及び各地域づくりセンター内の分館(図書室・図書スペース)の利用促進を図り、住民の誰もが気軽に図書館を利用し、心豊かな暮らしを実現できる読書環境を整えます。

また、家庭・学校・地域が連携し、読書ボランティアなどの協力を得ながら、子供の読書活動の推進に取り組みます。

## (5) 文化・芸術活動の推進

伝承館・戦国の庭歴史館など既存の施設での活動を中心に、町が有する歴史・文化遺産・民俗芸能等を保存し、広く町内外へ発信していくと共に、住民や関係団体の協力を得ながら、次世代へ継承していくため、調査・研究・活用を推進し、展示・講座などを通じて学習する機会の創出と普及啓発に取り組み、後継者育成に努めます。

また、幅広い世代の自主的な芸能・芸術活動を支援していくと共に、芸術文化に対する子供の感性を高める事業を継続していきます。

## (6) 自然・環境保全活動の推進

高原の自然館や、町内の様々な自然フィールドを中心に、町の特徴的な自然について町内外にその魅力を発信し、学ぶ機会を提供します。各地域のNPOをはじめとする住民団体と協力・連携しながら、美しい自然環境や景観の保存と継承に務めます。

## (7) 生涯スポーツ活動の推進

住民が主体的にスポーツ・レクリエーション活動へ参加できる推進体制を強化すると共に、町内のスポーツ施設等を活用した町内外の住民が交流できるスポーツ大会の開催や、地域密着型スポーツクラブ、総合型スポーツクラブ等と連携し、ライフスタイルに応じて幅広くスポーツ活動を行えるまちを目指します。

### 施策の方針3 学習機会に関する情報発信

#### (1) 生涯学習情報の提供及び手段の充実

学習活動の情報が気軽に得られるように、北広島町まちづくりセンターや、各地域づくりセンター及び北広島町図書館・戦国の庭歴史館・高原の自然館など既存の生涯学習施設の情報発信ツール、また、町広報などの既存手段と、ICT 技術を併用して、積極的に情報発信を行います。

### ■基本施策Ⅱ つながりづくり

#### 「学び」を通じたつながりづくりの推進

組織を越えた連携と協働を行い、学びを推進します。

また、学びを通して、人と人、人と自然・歴史・文化などをつなぎ、新たなまちの魅力を作り出していきます。

### 施策の方針1 組織を越えた連携と協働の推進

#### (1) 行政組織及び、地域組織の連携の推進

生涯学習の対象は幅広く、住民の多様なニーズに応えるためには、生涯学習担当課の総合的な視点と、その他の部局の専門的な視点の両面から取り組んでいくことが効果的です。このため、庁内関係部局との連携に努め、様々な分野の生涯学習が推進されるよう努めます。

また、住民の生涯学習に関する要望等を拾い上げながら、地域協議会、NPO、その他町内の様々な団体との連携を促進し、それぞれの思いや立場を尊重しながら、共に「学び」を通じたまちづくりを進めていきます。

#### (2) 学校・家庭・地域の連携の推進

地域全体で子供たちの成長を支える為、地域学校協働活動（p. 20 用語解説⑥）や、コミュニティ・スクール（p. 20 用語解説⑦）などの地域や学校が連携するしくみを生かしながら、学校・家庭・地域の連携・協働を推進します。

### 施策の方針2 資源とつながりを活用した町の魅力づくり

#### (1) スポーツを通じたつながりづくり、まちづくりの推進

「北広島町スポーツ推進計画」に基づき、スポーツを通じた、つながりづくり、まちづくりを推進します。

また、「北広島町健康増進計画 まめマメきたひろしま」に基づき、住民の健康づくり、居場所づくり、つながりづくりを推進します。

#### (2) 生涯学習を通じたつながる機会の提供

人、自然、歴史、伝統文化など、それぞれの地域が持つ特色を「資源」として捉え、生涯学習を通じてつながる機会を提供します。人と人とのつながり、自然・歴史・文化とのつながりを広げ深めることで、新たな学びと町の魅力を創出します。

## ■基本施策Ⅲ まちづくり

### 「学び」とつながりを生かしたまちづくりの推進

地域の資源を学ぶことにより、ふるさと北広島への愛着を醸成します。学びの成果を地域へ還元し、つながりを生かした持続可能なまちづくりを目指します。

#### 施策の方針1 ふるさと北広島町への愛着と定住意識の醸成

##### (1) ふるさと学習の充実

「ふるさと北広島」を学ぶことにより、まちへの誇りと愛着を醸成し、「このまちに住みたい」「暮らしていきたい」、「このまちのために何かしたい」と思い行動する様な意識を醸成します。

#### 施策の方針2 学びの成果を地域へ還元する仕組みづくり

##### (1) 地域活動に関わる担い手の育成

住民一人ひとりが生き生きと暮らしていける持続可能な地域を目指し、まちづくりを自分事としてとらえ、地域活動に主体的に関わる担い手の育成を、学びを通して行います。

##### (2) 学習成果を生かした地域活動の支援

学びの成果や成果物を発表する機会を設けることは学習者の励みとなり、さらなる学びを誘発し、学びの成果としての発表や活動が、地域コミュニティを活性化するための手段ともなります。学びの成果を地域へ還元する仕組みづくりを検討していきます。

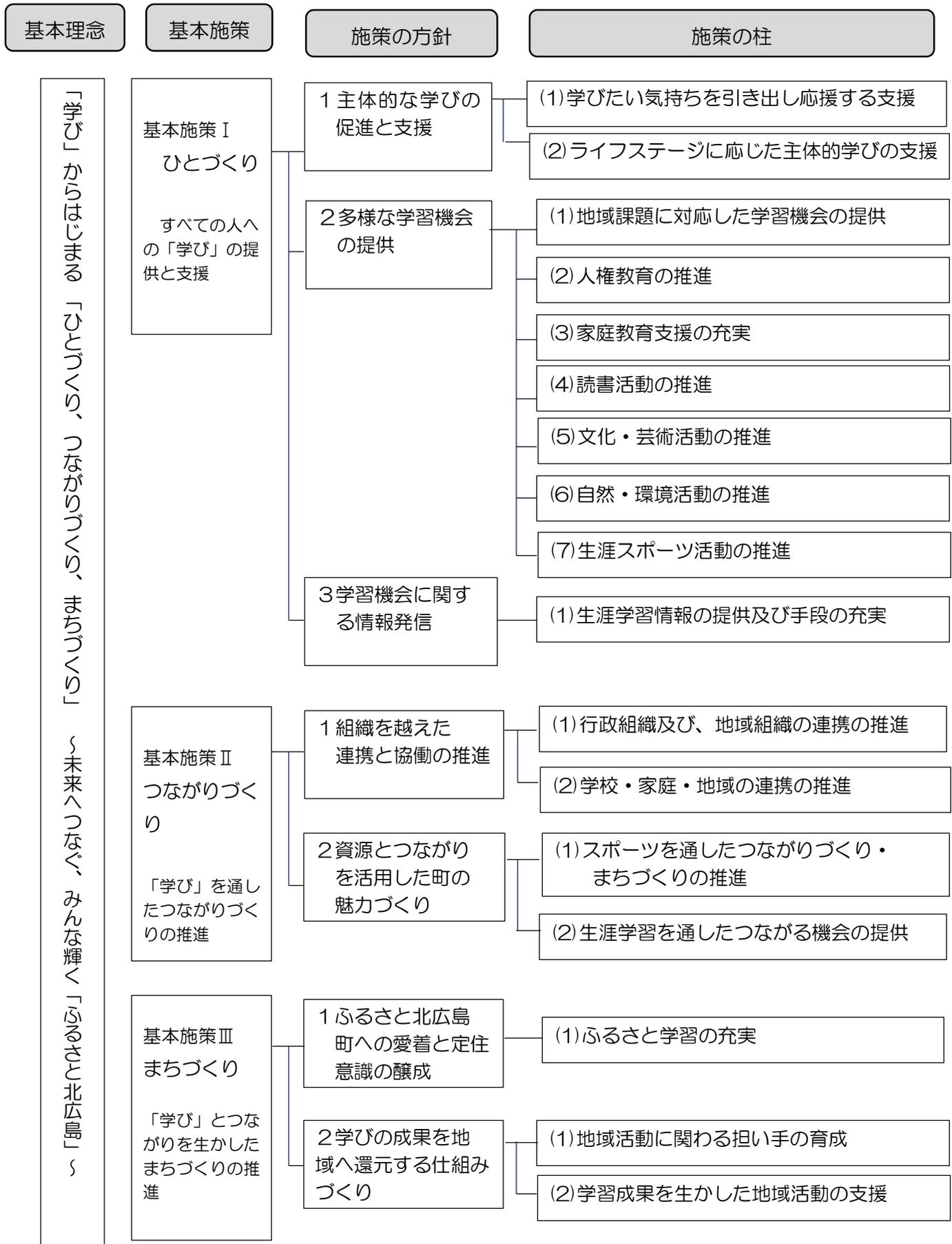
また、暮らし、自然、歴史、伝統文化など、北広島町の豊富な資源を、住民自らが町内外へ発信することを促し、町の魅力づくりをさらに進めていきます。

○ 北広島町では、SDGsを推進します。生涯学習においても、SDGsの視点を参考とした施策を実施します。

図9



### 3 施策の体系図



#### 4 施策の具体例

施策の柱	施策の具体例
基本施策Ⅰ ひとつづくり	
1-(1) 学びたい気持ちを 引出し応援する支援	今後実施したい事業の例 ○「やりたいことプロジェクト」
1-(2) ライフステージに 応じた主体的学びの支援	現在実施している事業 ○となりの達人に教えてもらおう！ ○高齢者学級・ことぶき大学 ○同年会 ○シニアパソコン教室 ○男性対象講座 ○シルバーのための ICT ○子ども教室 ○子ども科学実験室 ○放課後子供教室 ○成人式 ○青少年育成推進協議会連携事業(トム・ソーヤスピリッツ) 今後実施したい事業の例 ○生涯学習につながる、放課後の学び場づくり
2-(1) 地域課題に対応し た学習機会の提供	現在実施している事業 ○となりの達人に教えてもらおう！(再掲) ○シニアパソコン教室(再掲) ○シルバーのための ICT(再掲) ○防災教室 ○男の料理教室 ○古き良き教室 ○お茶を楽しむ会 ○藍染めらんらん 今後実施したい事業の例 ○若ものカフェ ○「図書館で学ぼう」講座 ○生涯学習につながる、放課後の学び場づくり(再掲)
2-(2) 人権教育の推進	現在実施している事業 ○人権講演会 ○多文化共生事業 ○パラアスリートの支援 今後実施したい事業の例 ○地域日本語教室
2-(3) 家庭教育支援の充実	現在実施している事業 ○ブックスタート事業 ○各種おはなし会 ○子ども教室(再掲) ○ファミリーフェスタ ○大人が絵本を楽しむ会 ○学び塾愛着創造学部体験プログラム 今後実施したい事業の例 ○子どもが元気なまちづくりプロジェクト
2-(4) 読書活動の充実	現在実施している事業 ○ブックスタート事業(再掲) ○読書会 ○ぬいぐるみおとまり会 ○古本市 ○各種おはなし会(再掲) ○大人が絵本を楽しむ会(再掲) ○学校連携によるブックトーク ○POP 作り講座 今後実施したい事業の例 ○子どもが元気なまちづくりプロジェクト(再掲)

2-(5) 文化・芸術活動の推進	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 澁光記念児童生徒自画像展</li> <li>○ 花田植・神楽など伝統文化の伝承</li> <li>○ 作品展</li> <li>○ ロビー展示</li> <li>○ 史跡ハイキング</li> <li>○ 歴史文化講演会</li> <li>○ 各種企画展</li> <li>○ ひな人形展</li> <li>○ 体験会:草木染・冬のお楽しみ会等</li> <li>○ 県民文化祭・各文化団体支援</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 里山の食・生活文化を伝える会</li> <li>○ 澁光紹介漫画作製</li> <li>○ 町所蔵絵画の展覧会</li> </ul>
------------------	---

2-(6) 自然・環境活動の推進	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ きたひろエコ・ミュージアム</li> <li>○ 野鳥写真展</li> <li>○ 野鳥ギャラリートーク</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然資源を使った防災・減災の取組(自然館)</li> </ul>
------------------	---

2-(7) 生涯スポーツ活動の推進	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2020 東京オリンピックホストタウン事業</li> <li>○ スポーツ推進委員活動</li> <li>○ 総合型スポーツクラブの推進</li> <li>○ ラジオ体操の推進</li> <li>○ 体育協会連携事業(スポーツフェスタ等)</li> <li>○ 各施設のチャレンジデーへの協力</li> <li>○ ノルディック・ウォーク</li> <li>○ 元気づくり推進事業</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ドミニカ共和国との持続的な交流</li> <li>○ 障害者スポーツ活動の充実</li> <li>○ キャンプ、サイクリング、カヤックなど、自然を活かしたアクティビティの普及とガイドの育成</li> </ul>
-------------------	--

3-(1) 生涯学習情報の提供及び手段の充実	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ きたひろネット放送による広報活動</li> <li>○ 地域づくりセンター等 HP</li> <li>○ SNS の活用</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高速通信を活用したリモート観察会</li> <li>○ 障害者の生涯学習活動への支援</li> </ul>
------------------------	--

基本施策Ⅱ つながりづくり

1-(1) 行政組織及び、地域組織の連携の推進	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青少年育成推進協議会連携事業:トム・ソーヤスピリッツ(再掲)</li> <li>○ 各種団体支援</li> <li>○ イキイキサロンなど、地域団体への協力事業</li> <li>○ 保健課等他課との連携によるテーマを決めた図書展示</li> <li>○ 地域協議会連携事業「ふるさとさんぽ」</li> <li>○ JA 北部農協連携事業「ミニ門松づくり」</li> <li>○ 体育協会協力事業「チャレンジデー」・「支部対抗球技大会」</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもが元気なまちづくりプロジェクト(再掲)</li> <li>○ NPO 等地域団体の活動周知</li> </ul>
-------------------------	--

1-(2) 家庭・地域・学校の連携の推進	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭と学校と地域を結ぶ教育の集い</li> <li>○「みんなおいでよ」(地域の組織と活動)</li> <li>○千代田地域学校支援連絡協議会連携事業(ともに千代田っ子を育てる会・小中高一斉ボランティア清掃)</li> <li>○コミュニティスクール</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地元企業と学校を結ぶ事業</li> </ul>
2-(1) スポーツを通じたつながりづくり・まちづくりの推進	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふるさと寄付を活用したトップアスリート支援</li> <li>○元気づくり推進事業</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャンプ、サイクリング、カヤックなど、自然を活かしたアクティビティの普及とガイドの育成(再掲)</li> </ul>
2-(2) 生涯学習を通じたつながる機会の提供	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○となりの達人に教えてもらおう！(再掲)</li> <li>○きたひろエコ・ミュージアム</li> <li>○きたひろしまを Deep にしよう！</li> <li>○文化祭</li> <li>○地域協議会連携事業「ふるさとさんぽ」(再掲)</li> <li>○生き生きサロン</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○吉川氏城館跡歴史公園を活用した滞在型体験学習</li> <li>○図書コン(仮称)～本が好き・読書が好き・図書館が好きな人の交流の機会を作る</li> </ul>
基本施策Ⅲ まちづくり	
1-(1) ふるさと学習の充実	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北広島ふるさと夢プロジェクト事業</li> <li>○きたひろエコ・ミュージアム(再掲)</li> <li>○きたひろしまをDeepにしろう！(再掲)</li> <li>○施設見学・職場体験</li> <li>○野鳥写真展・野鳥ギャラリートーク</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○吉川氏城館跡歴史公園を活用した滞在型体験学習(再掲)</li> <li>○靉光紹介漫画作製(再掲)</li> </ul>
2-(1) 地域活動に関わる担い手の育成	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○となりの達人に教えてもらおう！(再掲)</li> <li>○防災教室(再掲)</li> <li>○きたひろ学び塾体験プログラム</li> <li>○芸北茅プロジェクト</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○きたひろ学び塾 塾生によるプログラムの実施</li> </ul>
2-(2) 学習成果を生かした地域活動の支援	<p>現在実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作品展・文化祭・芸能発表会等各種発表の場の設定(再掲)</li> </ul> <p>今後実施したい事業の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもが元気なまちづくりプロジェクト(再掲)</li> <li>○きたひろ学び塾 塾生によるプログラムの実施(再掲)</li> <li>○「やりたいことプロジェクト」(再掲)</li> </ul>

## 第4章 計画の推進

### 1 計画の推進体制

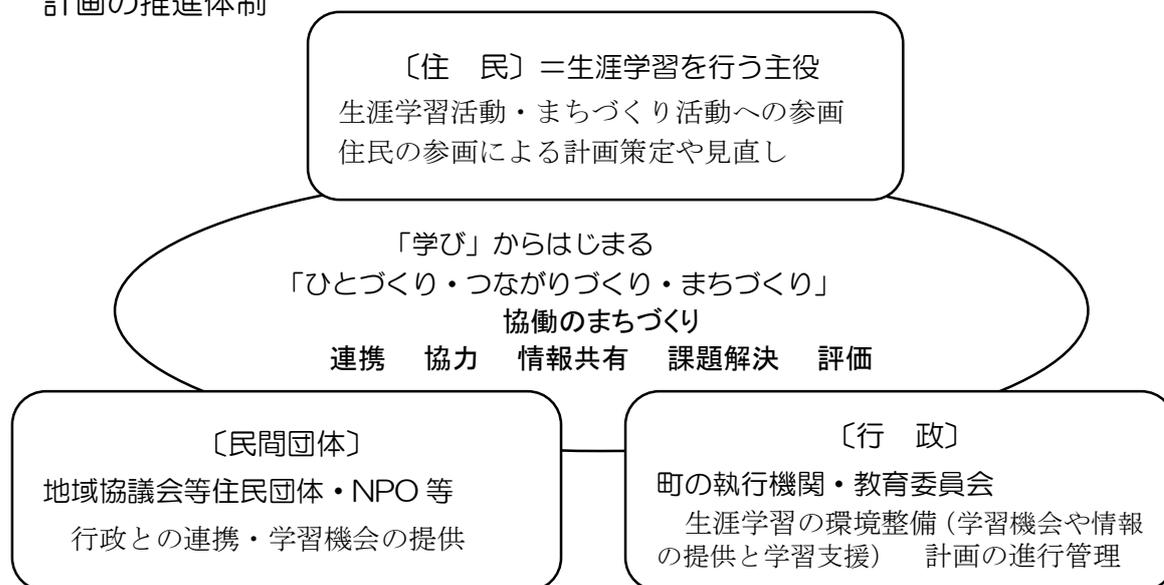


図 10 計画の推進体制イメージ図

### 2 計画の評価

施策の方向性などについて関係職員の間で共通認識を図り、評価指標等をもとに、PDCA サイクル（p. 20 用語解説⑧）に沿った自己評価を行います。

また、「社会教育委員の会議」において、意見を聞きながら改善を図ります。

表 2 主な評価指標

指標	基準値(令和元年度)	目標値(令和9年度)
生涯学習施設の利用者数（*1）	119,615 人	119,076 人
生涯学習の企画等研修への職員の参加率	17%	35%
町 HP における、年間の生涯学習関係コンテンツの閲覧数（*2）	68,548 件	75,000 件
講座修了後のアンケートによる講座の目的達成度・満足度の確認	—	目標達成度 80% 満足度 80%

この他、北広島町長期総合計画に掲げる指標や個々の事業の評価を担当課で行う。

\*1 目標値は、過去 10 年間の数値から算出した人口減少率と増加目標値 10%で算出した。  
生涯学習施設は、芸北・大朝・千代田・豊平の各地域づくりセンターと北広島町図書館・芸北民俗博物館・大朝郷土資料室・上本家住宅・古保利薬師収蔵庫・伝承館・万徳院ガイダンス・戦国の庭歴史館・高原の自然館とする。（運動公園は含めない。）

\*2 上位 500 コンテンツ中に占める生涯学習関連の閲覧数とする。

ページ	単語	意味
p. 2	① SDGs	Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略 「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂生のある社会の実現のため、2030年度までに達成すべき17の開発目標と、これを達成するための169の細かい目標値があります。
p. 4	② IoT	Internet of Things の略 人を使わず、ものが自動的にインターネットと繋がる技術。自動運転等
	③ Society5.0	狩猟社会(Society1.0)・農耕社会(Society2.0)・工業社会(Society3.0)・情報社会(Society4.0)に続く新たな社会。IoTやAIなどの最新テクノロジーを活用した便利な社会
	④ ICT	Information and Communication Technology の略 通信技術を使って人とインターネット、人と人が繋がる技術。メール、チャット、SNS等
	⑤ パンデミック	感染症が世界的規模で同時に流行すること
p. 13	⑥ 地域学校協働活動	幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、子供たちの成長を支え、地域を創生する活動
	⑦ コミュニティ・スクール(学校運営協議会)	学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育むための仕組み
p. 19	⑧ PDCA サイクル	Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)のサイクルを繰り返すことで、継続的な業務の改善を促す技法



## 「北広島町生涯学習推進計画策定委員会」報告

### ■第1回策定委員会

日時：令和2年9月11日（金）10：00～11：50

場所：北広島町役場本庁 2階会議室

出席：委員8名、事務局・事務局関係課職員

#### 意見のまとめ

基本理念 に関すること	施策の方向性など に関すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学び」を基盤とした人づくり、つながりづくり、地域づくり</li> <li>○つながりの希薄化</li> <li>○10年後を目指す北広島町</li> <li>○生活の中に入るもの（一服の清涼感） 地域住民のやりたい、生活の中で取り組んでいきたいという思い、願いが生活の中での一服の清涼感</li> <li>○Uターン（住んでいない人に魅力を発信）</li> <li>○人と人をつなぐ（コミュニティ） 高齢者も子育て中の人も働いている人も皆おいでけぼりにしない</li> <li>○住民の幸福感（些細な事でも）</li> <li>○豊かな暮らし</li> <li>○「学びから始まる」</li> <li>○人が主役</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域づくり(まちづくり)センターの目的を明確に</li> <li>○町の目指すビジョンの可視化</li> <li>○生涯学習概念の可視化</li> <li>○ICTの活用（デジタル化）</li> <li>○Society5.0</li> <li>○いかに独特のものを作るか</li> <li>○計画を作る過程が重要</li> <li>○計画が、実行できるもの</li> <li>○生活に生かされるもの</li> <li>○なんでも生涯学習</li> <li>○地域住民の生涯学習に対する要望を拾い上げる</li> <li>○地域振興会とのつながりを整理する</li> <li>○地域は学びだけで成立してない・横串を刺す</li> <li>○女性高齢者に浸透・保健課分野の関わり</li> <li>○行政サイドとの認識違い</li> <li>○「学び」と「生活(仕事)」</li> <li>○社会教育との関わり、「学び」とのつながり</li> <li>○生涯学習に対する理解</li> </ul>

### ■第2回策定委員会

日時：令和2年10月26日（月）14：00～15：40

場所：北広島町役場本庁 2階会議室

出席：委員8名、事務局・事務局関係課職員

#### 意見のまとめ

施策の方向性など に関すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>○この計画は、町民の皆さんにどのように理解して頂いたり活用して頂くのか。</li> <li>○趣旨に「ふるさと夢プロジェクト」のみ具体的な事業名があり、違和感がある。</li> <li>○町の特徴を出すことが大切。「北広島町ふるさと夢プロジェクト」は子供達に将来的にUターンを促す一助となる事業。具体名を入れた方が良い。</li> <li>○強み、魅力、プラスのイメージを入れる。</li> </ul>

- スポーツを入れる。
- 北広島らしさをもっと入れる。
- 生かされる学びとは何か。
- 趣味・教養的学びも次の世代につなげれば生かされる学びとなる。
- 誰向けの文章か、色んな地域課題があるのを住民でやってください教えますという上から目線に感じられる。
- 推進主体はだれか。住民主体性が出て来れば良い。
- 住民との協働なら、行政だけでは持ちきれない部分を進めてもらうリーダーを行政支援していく、連携を図ってもらい対応する形になった方が良い。
- すべての世代に向けた計画を作る。
- あくまでも町の指針。一緒に協働してやろうということを明記する。職員が指針により統一した動きをして住民が参画するという意味で、(先程の意見と) 一緒の意見。
- 町内の皆さんがされる生涯学習が、ニーズに合ったものや必要なものが出来るよう環境整備していくのが生涯学習行政の役割だと思う。
- まちづくりセンターと地域づくりセンターの役割、個々が何をしていくかが大きな主体になる。
- 生涯学習を推進するにあたり何を解決しなくてはいけないのか。北広島町が今抱えている課題は何で、生涯学習においてどう解決していこうとしているのか。

### ■第3回策定委員会

日時：令和3年2月26日（金）13：30～15：15

場所：北広島町役場本庁 4階委員会室

出席：委員8名、事務局・事務局関係課職員

#### 意見のまとめ

生涯学習推進計画全体 に関すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>○スローガンとしては「守る」ではなく憲章にある「輝く」の方が良い。みんなが輝くイメージ。</li> <li>○「ふるさと北広島」は大事にしたい。それを未来へつなぐ。</li> <li>○基本理念の「学び」は強調したいところ。「学び」のみ括弧で、あとはシンプルに。「ひとづくり」「まちづくり」は、括弧を取り、中ぽちの方が良いのでは。</li> <li>○計画の期間、令和3年度策定で4年に見直して検証ができるのか。令和4年度は長期総合計画との整合性を図る見直しのみで、令和9年度までの計画としたらどうか。</li> <li>○コミュニティ・スクールは学校運営協議会。地域学校協働活動など地域と学校が連携する仕組みを生かしながら、とする方が良い。</li> <li>○基本施策Ⅲ施策方針2の赤字部分「住民のアイデア支援」は、基本施策Ⅰの施策の方針1（1）として「学びたい気持ちを引き出し応援する支援」として新たに入れたらどうか。学習プログラムを提供するだけでなく町民のやりたい事を出発点として、そこから学習の場や活躍の場を作っていく。</li> <li>○ないものを起こすより、強みの部分をさらに伸ばし幅を広げていこうとする学習計画であるように。</li> <li>○職員が一体となって取り組んで行く。具体の施策の各課の名前は必要ない。事業名のみ載せる。</li> <li>○地域で店舗が廃止され、お年寄りが増え、車も動かせない買い物もできなくなる実態。会場は色々あるが、そこへ集めるのではなく、小さい単位での出前の様な事ができないか。</li> <li>○学びたいがどうして良いかわからない人の応援も必要。</li> </ul>

## 生涯学習関連施設等のヒアリング報告

期間：令和2年9月18日～29日

ヒアリング先：芸北・大朝・千代田・豊平地域づくりセンター・各支所地域づくり担当等

北広島町図書館・戦国の庭歴史館・高原の自然館・生涯学習課（夢プロ係・文化係）

### どんな町にしたいか（基本理念につながるもの）

- 生きがいを持って生きる人をつくる。
- 一人ひとりが生き生きと過ごす町。を取っても自分の技が生かされる。⇒生きがい
- 住んでいる人が元気な町
- IT化 家でパソコンでつながる。
- 仕事がある町
- 子育てがしやすい町
- 読書習慣のある住民の多い町
- 学びを楽しめる町
- 子供も大人も、住む人が、ふるさと北広島(自然・文化・歴史・地域・人等)を愛する町
- 環境保全・環境教育・里山文化の継承・生物の多様性などの観点から西中国山地の豊かな自然環境を保全し、地域の方たちと連携しながら里山文化を継承し、持続可能な地域社会を実現する。
- 環境からもたらされる有形無形の恵み、さらには、保育、教育、芸術、レクリエーションなど、人間らしい生活もまた、自然や都市がつくる環境があって、はじめて成り立つ。暮らしと文化そして平和を支える環境が、私たちにとってより良い状態であることで、豊かな社会と人々のより良い暮らしが実現する。それが私たちが考える社会の在り方。

### 町・地域の資源（魅力と強み）

- 自然・歴史・芸能(神楽など)など豊富な資源がある。素材が沢山ある。
- 北広島町は文化財の周りに自然や昔の暮らしが感じられる景観がそのまま残っている。国県指定の文化財が沢山あるのでこれを生かす。テングシデなど地域が守っている。
- 人口に対し、先生(講師)となれる人が多い。地域で指導者が沢山いる。  
知識の豊富な高齢者が多く、若い世代へ伝えていくことができる。
- 学ぶ意欲を持っている人が多い。誘い合って学びの場や輪を広めることができる。
- 継続して生涯学習を行う人が多く、まちづくりに繋がっている。
- 地域団体が多い。(NPO など)
- センター・図書館と住民・利用者の距離が近い。地域の方とのコミュニケーションはとれている。
- 地域のほとんどが顔見知り
- 広島市からのアクセスは良い。ICがある。立地的良い。

## 町・地域の現状・課題（弱み）

### 〈町全体〉

- 学びの循環の不足（個人の学びを地域活動等へ生かす）
- 町の生涯学習事業の不確立。生涯学習の理念を明確にし、目的を明確にした事業展開が必要（理念と活動をセットとする）
- 人材育成事業の不足（職員の資質向上と住民の人材育成事業が必要）
- 若い世代の学ぶ場、幅広い学習の場の不足
- 「地域学習」が、地域の中に埋もれていて、広く日本とか世界とかからの視点で見た時の「地域」として語られることが少ないことは、狭視野的には強みだが、やはり弱み。
- 図書館・歴史館などの施設を、町内の人々が、知らない。
- 組織を越えた横の連携・協働の不足
- 少子高齢化
- 交通の便が悪く集まりにくい。  
（高齢化の進む中、地域が広すぎて、隣の家が、店が、病院が、避難所が、金融機関が、病院が、、、遠すぎる。）
- 教育委員会とまちづくり推進課の職員が混在する組織あり方（支所職員・センター職員の具体的な業務）
- 施設の修繕費がかかる。

### 〈各地域〉

- 住民のまちづくりに対する関わりが弱い。地域づくりを担う人材育成の推進
- 住民は、昼は仕事・夜は家庭。生涯学習に関与する余裕がない。
- 若い人は仕事と子育て等で忙しい。他の楽しみ・趣味がある。
- 地域コミュニティの共同体意識の低下
- 地域の具体的なニーズがわからない。  
⇒ 地域協議会との連携・住民による公民館運営審議
- 施設の特定の人々の利用。（①図書 ②趣味教養のサークル活動 ③会議）
- 地域の講師の高齢化。
- 公民館運営審議会的な組織（運営委員会・企画会）の設置が必要かも。
- 働く場がどんどん少なくなる。地域の産業が消えると文化もなくなる。
- やりたい事業はお金がかかる。

# 生涯学習アイデア ワークショップ

日 時：令和2年12月5日（土） 10:00～12:00

場 所：北広島町役場 2F 会議室

参加者：19名（グループリーダー4名を含む）+ スタッフ

ねらい：北広島町生涯学習推進計画に、住民の視点や知恵を入れる。



アイスブレイクで打ち解けた参加者達は、今回のワークショップの趣旨説明を受けた後、高校生・大学生を交えた4グループに分かれて「学びから広がる活動」や「これからの北広島町に何が必要か」など、世代を超えて、熱心に語り合いました。

各グループとも北広島町の良さが活かされたキーワードが沢山出てきましたが、その内3つを選び発表しました。

「少子高齢化等による北広島町の自然・伝統文化の継承や地域コミュニティ維持の不安がありますが、自分自身が様々な学びを楽しみ、仲間とのつながりをつくり、対話の中から課題解決を見いだしていこう」という姿が見えました。

〈皆さんの意見のまとめ〉～北広島町を元気にしたり、盛上げたりするアイデアのキーワード～

## グループ1

居場所  
スポーツ  
故郷の歴史を学ぶ

## グループ2

ひとつづくり・つながりづくり  
伝統・自然  
楽しむ（泥んこになるなど、普段やってはいけないことも）

## グループ3

楽しむ  
つながり  
自然

## グループ4

仲間づくり  
発信力  
「食」は大事

## 学びから浮かぶ、キーワード

- 場・コミュニティの必要
- スポーツ
- 伝統文化
- 地域の人々は知恵袋
- 子どもとのかかわり
- 農業もありかも
- 対話から発見、それが学びとなる。

〈ワークショップに参加された住民の感想より抜粋〉

- 北広島町のまちづくりに役立っているような気がしてうれしかったです。また、このような場があったら参加したいです。
- 地域の方々の考えなど色々あり、楽しく話すことが出来ました。
- 生涯学習のいいバイブルが出来ますように。
- ワークショップは楽しい！！と一人でもたくさんの人に知ってもらおうといいですね。
- 学びは楽しいと思うようになるには、毎日の自分の暮らしの中で、楽しさを発見してみる（意識）がとても大事だと思います。自分の人生、大切に大事にしたいですものね。若い人達と今日のように話すことが出来、感謝です。
- 高校生が参加してくださったことで、堅い頭がほぐれ、いっぱいいっぱい話すことが出来楽しかったです。
- このチャンスを利用して念願のオペラ「なでしこ」（千代田に戦時中集団疎開してきた子ども達のお話）の上演を実現したい。
- これからの北広島に何が一番必要か！！大事か！！という一番の目的がはっきりしたと考えると、それに向けて、今、何をしなければいけないかを、はっきりさせるといいなあと思います。きっとこのことが急務です。（次回を楽しみにしていきましょう！！）

グループリーダーを務めた金田道紀さん(千代田地域づくりセンター長)の思い



私のグループは、生涯学習の大ベテラン勢に高校生と大学生が加わるという編成でした。その若い二人が、しっかりとした課題意識をもって発言していたのが大変に印象的でした。

「新しい酒は新しい革袋に盛れ」という言葉があります。来年4月に新しい「まちづくりセンター」が誕生します。建物だけが新しくなるのではなく、「生涯学習推進計画」も新しくなります。

これを機に、これまで利用していた方々は勿論のこと、若い世代の人たちにもしっかり活用していただけるような施設にしていきたいと思っています。

ある地域づくりセンター職員さんの思い

本当に、ここに住んでいる人達の課題の解決になるプログラムを作ると、進めている私たちもキラキラと輝いて進めることができ、周りの住民を巻き込むことが出来ます。

一つ一つの事業に、小さくてもいいので、成果を出すことで、きっとこの社会は良くなると信じます。

社会に、いい意味での変化をもたらす事に心からエネルギーを使い、この地域を、地域づくりセンターを元気にしたいと思います。



北広島町生涯学習推進計画（案）に対する意見と考え方

- 1 募集期間 令和3年1月22日(金)～令和3年2月10日(水)
- 2 募集方法 郵送、ファクス、窓口への持参、町ホームページ
- 3 閲覧場所 町ホームページ、町教育委員会、各支所地域づくり係、各地域づくりセンター
- 4 応募人数 2人
- 5 意見と考え方

意見	考え方
<p>P17 (受付：令和3年2月4日)                      施策の具体例 2-(5)文化・芸術活動の推進について</p> <p>芸術活動の生涯学習(案)です。</p> <p>①参加型のワークショップ・鑑賞教育                      町が所蔵している絵画・彫刻の「展覧会を作る」ワークショップ                      参加者と共に、町有美術品を使って美術展を行う。                      町有作品の紹介と、認知度を上げる。美術品に触れてもらう事で学習意欲を持ってもらう。</p> <p>②町所蔵作品の貸し出し。                      町民や、町にある企業に対して作品の貸し出しを行い、家や企業の中に飾ってもらい、福利厚生の一環としてもらう。企業や、事業者と連携した積極的な活用。</p> <p>③町所蔵絵画の展覧会                      ・千代田地域づくりセンター・図書館(本館)ギャラリー                      ・役場本庁アトリウム ・どんぐり村「榎の館」                      ・芸北文化ホール ・筏津芸術村 などで行う</p> <p>④専門家の講座                      ・県立美術館の学芸員さんの講座                      ・学生に向けて、マンガ・アニメなどの講座                      ・町内在住の美術家の講座やワークショップ                      ・美術品の取扱いについての講座 など</p> <p>○観光紹介漫画作製 すごく面白そう！</p>	<p>ご意見ありがとうございます。                      大変興味深い事業を考えて頂いています。                      次年度からの文化・芸術事業の参考とさせていただきます。</p>
<p>P28 (受付：令和3年2月5日)                      北広島町生涯学習推進計画策定委員会名簿について</p> <p>いつもありがとうございます。                      生涯学習に参加する方の団体(例えば女性会、老人クラブ等)の代表者も策定委員に含めて頂いたらと思います。                      そのことが、積極的な情報発信に繋がると考えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。                      今後も、様々な視点を持つ方々の意見を取り入れながら計画策定し、情報発信に心がけます。</p>

## 北広島町社会教育委員の意見

計画(案)を送付し、令和3年1月書面により意見集約

### 《計画の推進等について》

- 「ひとづくり」「つながりづくり」「まちづくり」の基本施策のもと、様々な施策が事業となって行われて、町民が生き生きと健康に生活ができるように進められている。計画は様々あってそれぞれよく分かる。ただ、事業を進める側の熱量が参加者に広がり、町民が主体的に参加するために、何かが必要なのだと感じる。

理念と計画それを実行する組織が整えられたならそれを動かすための、人＝チームづくり や 共通認識の醸成 さらには 進捗管理によるPDCA が行政として整備されていけば良い。

立案したことを改善しつつ生かしていける。これらの事をスムーズに運営していくためにも町全体のICT環境、ネット環境が10年20年ある程度を見通して整えられることが急ぎ望まれる。

- 本計画推進に当たっては、基本施策Ⅰにも記載されているとおり、住民の「主体的」な取り組みが展開されることを期待する。北広島町長期総合計画にある「満足と幸福感」が得られるためには、「我が事」として捉えることが不可欠。

また、「ひとづくり、つながりづくり、まちづくり」は主体的な学びがあって実現できるものと思っている。しかし、行政パーソンは往々にして、“お仕着せ”や“出しゃばり”を臭わせる関わりをされる。(良いとか悪いとかではない。もしかしたら公務員の使命感がそうさせるのかもしれない。)

最初の内は、住民主体を“しっかりと”意識しながら取り組まれていたものが、いつのまにか行政主導の取り組みになっていた、結果、“やらされ感”が充満し、誰のためにやっているのかわからず、自然消滅ということにもなりかねない。黒子・触媒として住民の主体性を刺激し続け、計画が推進されることを期待する。

- 生涯学習アイデアワークショップを計画され、結果として参加者の感想からあれだけの良い評価を得られた事は素晴らしい事だと思う。こうした推進計画などというものは、とかく絵に書いた餅になってしまうケースが多いと思う。どうか具体的に何が行動として出来、計画が現実味をおびてゆくような期待感をともなう計画であって欲しい。

(私は他の方よりもスキーの経験が長く、広くこの芸北地域の事、スキー界のこと、人口減少の事を本当に危機感に感じている。そんな折り、芸北分校・芸北地域に対し冬の時期、毎週木曜日ナイターにて大佐スキー場で無料スキーレッスンを行っている。スキー場にはかなりの無理を認めて頂き、シーズン券も安価で提供してもらったりと教職員・分校の生徒から好評を頂いている。5年前から継続していて、分校生徒など、ど素人が、3年生の頃には1級を取得したりしている。)

### 《計画の内容等について》

- コロナ禍の中、世界中が刻々と変化していく中での計画は、先の見通せない難しさを感じている。今の地点で「町民にとって何が必要か」を考えてしまう。先日のワークショップで高校生が防災の事を挙げたのには驚いた。私より生きる未来に対してシビアな若者達。学びだった。

ある記事に出会った。“「気候変動教育」のいま”というタイトルで、永田佳之(聖心女子大)これからの社会教育はこれではないかと感じた。そして「生徒も先生も一市民として意見を出し合い、問題解決に臨むという手法(まさに先日のワークショップ)電気から給食に至るまでのありとあらゆる領域に子ども達の声が反映され得る仕組み作りへの挑戦」という言葉に、この生涯学習推進計画に共鳴するものを感じたので。「希望」を紡ぐのが教育の使命とあり、この計画が北広島町に住む全ての人に「自分ごと」として理解してもらえるようにと願っている。

- 推進計画の方向性について異論はなし。3-2 施策の具体例 施策Ⅰ 2-(7)生涯スポーツ活動の推進か、施策Ⅱつながりづくりの中に保健課が担当している「元気づくり推進事業」を入れてはどうか。また、各地で取り組まれている「いきいきサロン」を加えてはどうか。

北広島町は面積が広く、また、高齢化が進んでいる。生涯をとおして学びたいとか、人と交流を持ちたいという住民の願いを受け止めるには、学習の場が、歩いてでも行ける身近な場であることが大切。「元気づくり推進事業」や「いきいきサロン」は、発足当初は行政の指導を受けたが、その後は自主的に運営されている生涯スポーツや学びの場であると思う。住民の身近にある集会所でも学びが展開できる取り組みを加えて頂ければと思う。

- 同世代間のつながり（仲間づくり）を考慮した事業を加えてはどうか。同世代を生きた者による中では意見を発しやすく理解しやすい。その中で成長でき、新たな夢や課題克服への意欲が醸成されるのではないかなと思う。各世代の仲間達と話し合いながら、各世代が一緒になって「豊かで明るい北広島町のまちづくり」を推進する。各世代が縦横のつながりを持つ。
- 地域と学校を結びつけるコーディネーターが必要。地域おこし協力隊の積極的な活用を。企業と学校とのつながり（地元企業で働くことの魅力アピール）高校3校合同ワークショップ+中学校を。

#### 《計画のPR・情報発信等について》

- 計画に基づいて施策が実施されています。特徴ある取組を前面に出して、広報をもっとやっていくことが大事と考える。  
キャッチフレーズなり、町民になかなか浸透しにくい状況もあると思う。計画の中で、もっと1点に絞ったものが合い言葉のようになってくればいいと思います。
- 具体的に何をするのが大切である。参加しやすい活動、また場所づくり。  
紙面による町民への情報提供は、ゴミが増えること。なかなか読まない事から、きたひろネットによる情報提供、だれもがみたくなる様な情報提供の工夫。
- 計画に対して、異論なし。「住民自らが担い手として地域運営に主体的に関わっていくことが重要」とてもいい文章。しかし、いち住民から「めんどくさい、どうでもいいじゃん」という声が聞こえてきそう。そんな人をその気にさせるのはどうすればよいか。  
この計画を、きたひろネットや、広報きたひろでアピールしてもらい、住民の人に知ってほしい。
- 良いと思う。良い活動でも参加される方が同じような顔ぶれだったりするので、SNSなどでアピールするなど若い方にも知ってもらえる方法を考えたら良いのに、、、とモッたない気がする。町のホームページも見づらと思うし、そのような声もよく聞く。

#### 《その他》

- コロナの状況で大変難しい面はあると思うが社会教育委員が、学習施設での活動や学校教育への活動支援などでできればと思う。
- ふるさと夢プロジェクトの講演内容、民泊体験は素晴らしい。子供達がこれから成長していく中で必ず役に立つことが多い。ファミリーフェスタでの子供のボランティア、豊平学園のそば打ちも地域愛を植え付け地域を大切に思うようになる。地域に就職しリーダーシップをとってくれるものと期待したい。

「北広島町生涯学習推進計画」策定の経緯

年月日	項目	内容
令和2年	北広島町生涯学習推進計画見直しの検討	内部協議
令和2年8月	「北広島町生涯学習推進計画」策定委員会設置	学識経験者・社会体育関係者・社会教育経験者・文化関係者・各地域の社会教育委員より選出し、委員委嘱
令和2年8月5日	「北広島町生涯学習推進計画」第1回ワーキング会議	生涯学習課・関係課の職員で構成第1回策定委員会について協議
令和2年9月11日	<b>第1回北広島町生涯学習推進計画策定委員会</b>	委員長・副委員長を選出し、諮問町の現状説明と計画策定について協議
令和2年9月18日～9月29日	生涯学習関連施設・関係課へのヒアリング	町の生涯学習施策の強みと課題等を関係職員27名から聞き取り、整理。
令和2年10月12日	「北広島町生涯学習推進計画」第2回ワーキング会議	第2回策定委員会について協議
令和2年10月26日	<b>第2回北広島町生涯学習推進計画策定委員会</b>	ヒアリングの意見を参考に作成した北広島町生涯学習推進計画(案)の提案
令和2年11月2日	「北広島町生涯学習推進計画」第3回ワーキング会議	ワークショップについて協議
令和2年11月10日	「北広島町生涯学習推進計画」第4回ワーキング会議	ワークショップについて協議
令和2年11月25日	第3回ネットワーク会議(各地域づくりセンター・まちづくり推進課・生涯学習課・図書館等)	広島町生涯学習推進計画(案)の説明と意見聴取。具体の施策への書き込み依頼
令和2年12月5日	生涯学習アイデアワークショップ	学びから広がる活動や町を元気づけるアイデア等について、世代を超え熱心な語り合いが行われた。
令和2年12月28日	「北広島町生涯学習推進計画」第5回ワーキング会議	ワークショップの意見を参考に北広島町生涯学習推進計画(案)の修正策定委員に送付し、意見聴取。
令和3年1月22日～2月10日	パブリックコメント	北広島町生涯学習推進計画(案)について意見聴取
令和3年1月	第2回北広島町社会教育委員会会議(書面)	北広島町生涯学習推進計画(案)について意見聴取
令和3年2月8日	第4回ネットワーク会議	北広島町生涯学習推進計画(案)等について説明
令和3年2月18日	「北広島町生涯学習推進計画」第6回ワーキング会議	第3回策定委員会について協議
令和3年2月26日	<b>第3回北広島町生涯学習推進計画策定委員会</b>	パブリックコメント・社会教育委員の意見等を参考に修正した北広島町生涯学習推進計画(案)の提案 委員会終了後、新しい「まちづくりセンター」の見学
令和3年3月	北広島町生涯学習推進計画の発行	答申

## 「北広島町生涯学習推進計画」策定委員会設置要綱

### (設置)

第1条 北広島町における生涯学習推進計画を策定するため、北広島町生涯学習推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (任務)

第2条 委員会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議を行い、その審議結果を答申する。

- (1) 北広島町生涯学習推進計画に関すること。
- (2) その他、生涯学習の推進に必要と認める事項に関すること。

### (組織)

第3条 委員会は10名以内で構成し、委員は、学識経験者、各種団体等の代表者若しくはそれに準ずる者のうちから、教育長が委嘱する。

- 2 委員会に委員長及び副委員長を置く。
- 3 委員長は、委員の互選により定め、副委員長は、委員長が委員のうちから指名する。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

### (任期)

第4条 委員の任期は、令和3年3月31日までとする。

### (会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて会長がこれを招集する。ただし、委員長を定める前に招集する会議は、教育長が招集する。

- 2 委員長が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会生涯学習課において処理する。

### (委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

## 附 則

この要綱は、令和2年8月1日から施行し、令和3年3月31日限りでその効力を失う。

## 北広島町生涯学習推進計画策定委員会名簿

### 策定委員

名前	所属等	その他
山 川 肖 美	広島修道大学教授	委員長
長 田 克 司	北広島町体育協会会長	副委員長
岸 田 豊 作	北広島町文化財保護審議会会長	
松 田 愛 子	広島県立生涯学習センター振興課長	
久茂谷 美保之	北広島町社会教育委員の会議長（芸北地域）	
山 本 幸	北広島町社会教育委員の会（大朝地域）	
細 部 俊 彦	北広島町社会教育委員の会（千代田地域）	
入 澤 良 枝	北広島町社会教育委員の会（豊平地域）	

### 行政関係者・事務局

名前	所属等
池 田 庄 策	北広島町教育員会教育長
西 村 豊	北広島町教育委員会生涯学習課課長
三 宅 克 江	北広島町教育委員会生涯学習課

### 関係課

名前	所属等
沼 田 真 路	まちづくり推進課課長
田 辺 康 行	まちづくり推進課
沖 中 満 春	まちづくり推進課（千代田地域づくりセンター）

～ 北広島町の「町花」と「町木」 ～



北広島町イメージキャラクター  
はなだ もうたろう  
花田舞太郎とササユリ

町花 ササユリ (平成27年2月1日制定)

昔から北広島町内全域に分布し、なじみのある花です。現在では分布が減少しているものの、花が咲いていなくても球根で生きていることから、葉っぱを1枚出したものが山には残っており、山の手入れや草刈りをする事で花がたくさん咲くようになるようです。

また、球根を食した、生け花にしたなど里の文化が残っているなどの文化的価値が高く、上品な香りと清楚で凛とした気品のある花の姿が、町民の皆さんの心をとらえているため、町花にふさわしいとして指定されました。



北広島町イメージキャラクター  
はなだ もうたろう  
花田舞太郎とテングシデ

町木 テングシデ (平成27年2月1日制定)

テングシデはイヌシデの変種で、柳や桜など種類によっては「しだれる」木はあるものの、幹まで曲がりくねった木は極めて珍しく、大変貴重なものです。シデの木は切ったり、持ち帰ったりしてはいけないと畏敬の念も込められて大切に守られてきました。

「大朝のテングシデ群落」として、2000年(平成12年)に国の天然記念物に指定されています。

町民の皆さんの圧倒的な支持と、世界的にも群落はここにしかなく、学術的にも評価が高いことから、町木にふさわしいとして指定されました。

北広島町生涯学習推進計画

発行年月：令和3年3月

発行：北広島町教育委員会

連絡先：北広島町教育委員会生涯学習課

〒731-1595

広島県山県郡北広島町有田 1234 番地